

先週、本校において学習発表会が行われました。当日はとても肌寒く感じましたが子どもたちの熱気が勝り、活気あふれた素晴らしい発表会となりました。

大成功を収めたその裏側には、各学年の頑張りがありました。一番感心したことは、それぞれの学年に応じて子どもたちを中心に発表内容を一から創り上げたことです。各種行事を進めるにあたっては、どうしてもお膳立て(事前に準備されている状況)での子どもたちの活動になりがちですが、今回の学習発表会はシナリオ作りから小道具、内容の修正等、子どもたちが率先して進められたようです。どの学年も「自分達が創り上げ、満足できた」と達成感を味わえたようでした。今回は個人の挑戦ではなく、クラスの挑戦だったと思います。

今回子どもたちが味わった自己肯定感、自己有用感は、学校教育としてとても重要な力です。我々としてはある程度育てたいイメージをもって進めていますが、時々うれしい「想定外」があります。それはまさに子どもたち自身が築き上げた成長の証ですね。

まさにこの「想定外」が私たちの頑張れる源の一つといっても過言ではありません。



5年生がシナリオづくりをしている風景

今年度のテーマ「挑戦」 2学期のテーマ「あきらめない」
～挑戦し続ければ、人は必ず成長する～